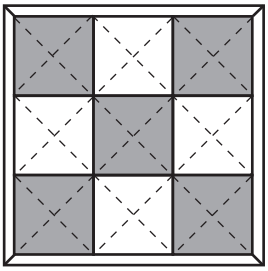
キルトの基本
～キルトを作ってみましょう～



1 道具・材料の準備をする

○ 布地……厚すぎない平織りのコットン生地がおすすめです。

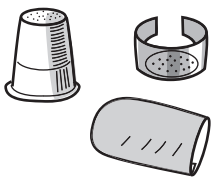
○ キルト綿……一般的には中厚手でポリエステル 100% の綿を使います。コットンのキルト綿もあります。

○ 糸……ピーシング用、キルティング用、手ぬい用、ミシンぬい用などの種類があるため、目的や用途に合わせて使い分けます。

○ ぬい針・まち針……ピーシング用、キルティング用などの種類があるため、目的に合わせて使い分けます。

○ キルト用鉛筆　(消えるペンなど)……生地に型紙を写すとき、キルティングラインを描くときに使用します。

○ 指ぬき……キルティングをするときに、指を保護するために使用します。
右手の中指に針を押すための指ぬきを、左手の中指や人差し指に針を受ける指ぬきをはめます。



○ キルトフープ……フープを使用すると、キルティングがきれいに仕上がります。

○ 糸切りはさみ

○ アイロン／こて

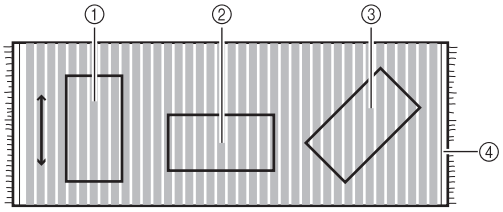
○ 定規

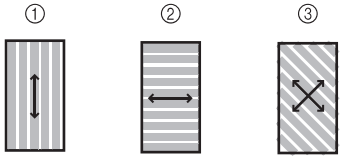
2 ピース（布）をカットする

取扱説明書の “ドロー線の周囲をカットする” を参照し、ぬいしろをつけて、できあがり線を描いたあと、ピースをカットします。以下の内容を確認してください。

1 地の目（布目の方向）を確認します。

タテ地	伸びにくい
ヨコ地	少し伸びる
バイアス地	伸びやすい

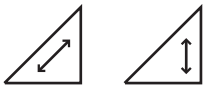




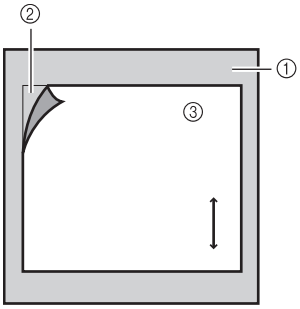
① タテ地
② ヨコ地
③ バイアス地
④ 生地のみみ

＊ 布の柄にあわせてピースを作りたい場合は地の目よりも柄を優先して作ることもあります。

＊ 型紙に布目方向の指示があるときは、型紙の指示に従ってください。



2 ぬいしろを描くときは生地の裏を上にして貼ります。
挿入方向に対してタテ地を合わせます。

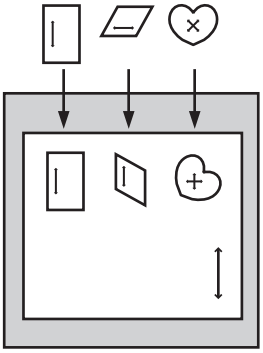


① カッティングマット
② 布用粘着サポートシート（お買い上げいただいた製品に付属していない場合は、別売品を購入してください。）
③ 布の裏

3 模様を選択し、配置します。

布目方向と模様の角度が合っていない場合は模様を回転させてください。

＊ 内蔵模様の場合は自動的に布目方向はタテ地に配置されます。

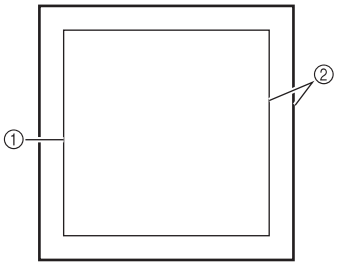


4 ぬいしろを設定します。

本製品で設定できるぬいしろ幅：3 mm、5 mm、1/4"、7 mm、10 mm、1/2"、5/8"

ぬいしろの目安

パッチワーク	5 mm、1/4"、7 mm
アップリケ	3 mm、5 mm



① できあがり線
② ぬいしろ

3 手ぬいの基本

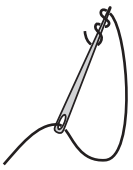
お知らせ

- ミシンを使ってキルトを作る場合、直線ぬい、返しぬい／止めぬい、アップリケぬいについては、ご使用のミシンの取扱説明書を参照してください。返しぬい／止めぬいをしないでピースをぬい合わせる場合は、ぬい目の長さを細かくしてぬいます。

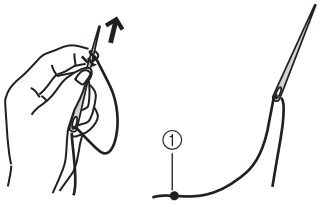
玉結び

糸が抜けないように、糸の端に結び目を作ります。

1 針に2、3回糸を巻きつけます。



2 巻きつけた糸を指で押さえて、針を引き抜きます。

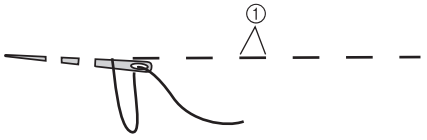


① 玉結び

3 余分な糸をはさみで切ります。

ぐしぬい

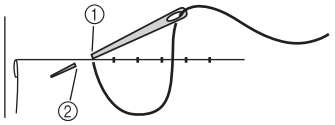
ピースをぬい合わせるときは細かくぬいます。



① 2 mm

まつりぬい

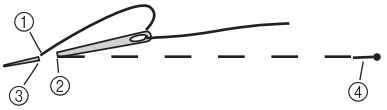
アップリケをするときに、糸が目立たないようにぬいつけます。



① 1針を入れる
② 針を出す

返しぬい

ぬい始め、ぬい終わりは、ひと針返しぬいをしてほつれないように糸をとめます。

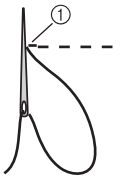


① 針を出す
② 針を入れる
③ 針を出す
④ 返しぬい

玉どめ

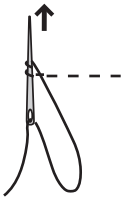
ぬい終わりは、返しぬいをして結び目を作り、糸を切ります。

1 糸のぬい終わりに針をおきます。



① 返しぬい

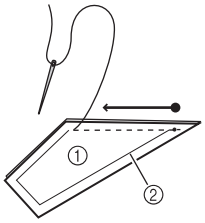
2 2回糸を巻き付け、指で押さえて針を引き抜く。



ぬい始めと印どまり

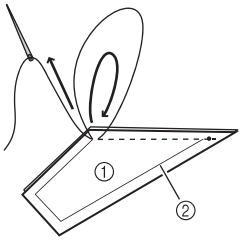
布をぬい合わせるときに、できあがり線の角までぬいます。

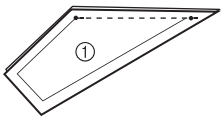
❶ ピースをぬい合わせます。ぬい始めは、玉結びをしてできあがり線の手前から針を入れ、ひと針返します。

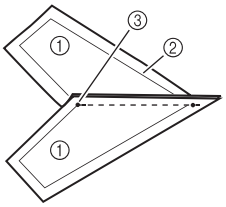


① 布の裏
② できあがり線

❷ ぬい終わりは、ひと針返して、角で玉結びをします。







① 布の裏
② できあがり線
③ 印どまり

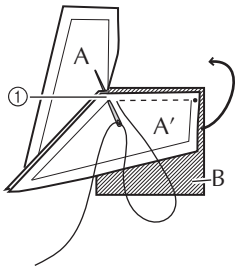
はめ込みぬい

1辺をぬうごとに糸を切らず、続けて複数の布をぬい合わせます。

▨: 布の表

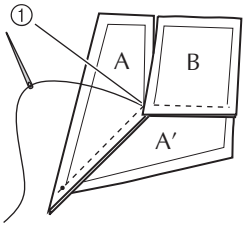
□: 布の裏

❶ A′とBのピースをぬい合わせます。印どまりの場所で、針をA′の反対側へ渡します。



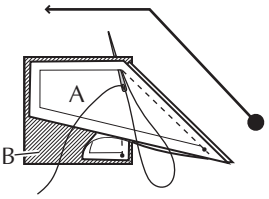
① 印どまり

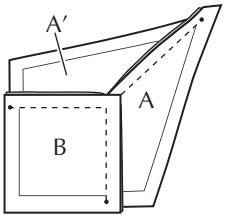
❷ Aの印どまりから針を通します。



① ぬい始め

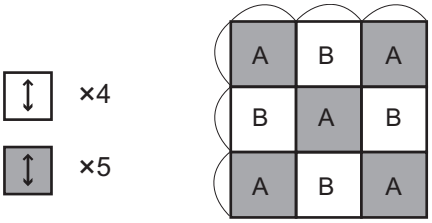
❸ AとBを重ねてぬい進めます。





4 ピースをぬい合わせてトップを作る（パッチワーク）

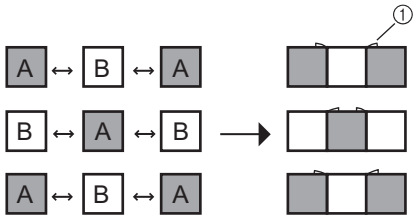
2 種類の布を用意して、正方形のピースをそれぞれ 4 枚、5 枚準備します（イラストを参照してください）。
ぬいしろをつけて、布をカットしてください。



< できあがり図 >

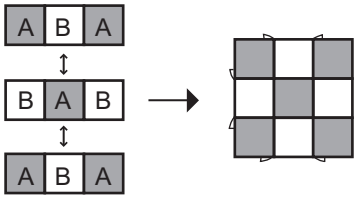
ぬい合わせる順番

1 ピースを横方向にぬい合わせます。
ぬいしろは交互になるように倒します。



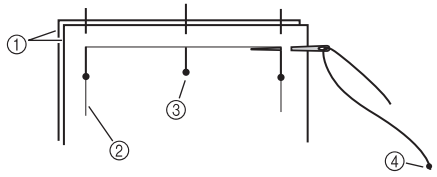
① ぬいしろ

2 全体を縦にぬい合わせます。



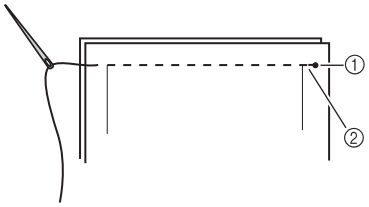
ぬい合わせ方

1 ピースを中表に合わせてまち針をうちます。
ぬい始めはひと針手前から針を入れます。



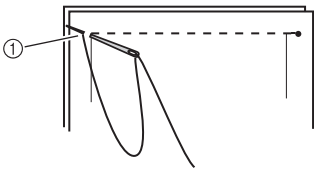
① 中表
② できあがり線
③ まち針
④ 玉結び

2 ひと針返しぬいをしてから、ぐしぬいでぬい進めます。



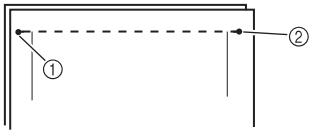
① 玉結び
② 返しぬい

3 ぬい終わりにひと針返しぬいをします。



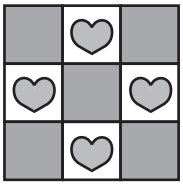
① 返しぬい

4 玉どめをします。



① 玉どめ
② 玉結び

アップリケをする



< できあがり図 >

1 **ぬいしろをつけてカットしたアップリケピースを用意します。**
(例：ハートを４枚)

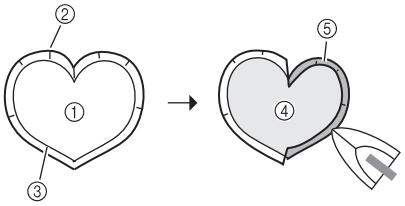
2 **できあがり線の 1 mm 手前まで切り込みを入れます。**

① 1 mm

お願い

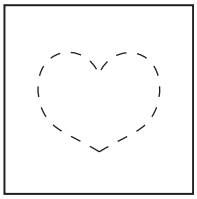
- カーブがきつい部分は切り込みを細かく入れてください。

3 **型紙を置き、アイロンやこてでぬいしろを倒します。**

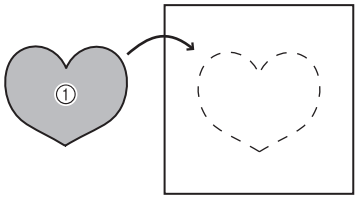


① 布の裏
② 切り込み
③ できあがり線
④ 型紙
⑤ 布の表

4 **土台布の上に印をつけます。**

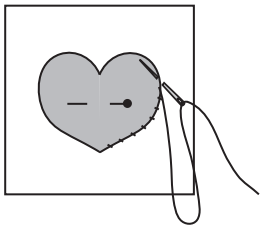


5 **型紙をはずし、土台布の上にピースを置きます。**



① 布の表

6 **まつりぬいでピースを土台布にぬいつけます。**

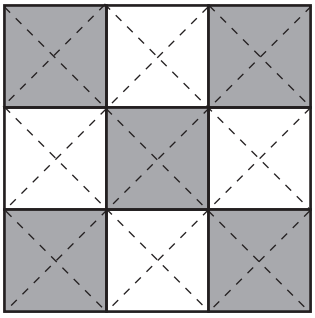


5 キルティングラインを描く

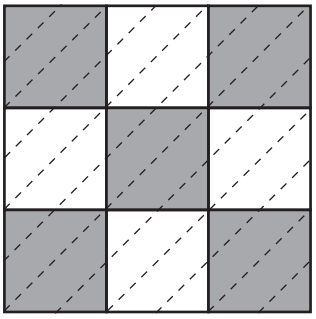
トップ（パッチワーク）が完成したらキルティングラインを描きます。
キルト用の鉛筆や消えるペンを使って薄く線を描きます。
濃い色の生地には白系の色で描いてください。

キルティングラインの例

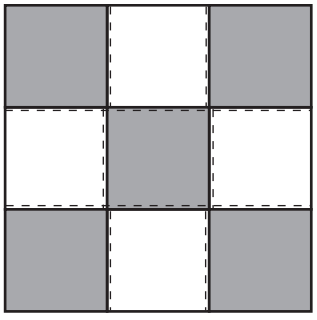
斜め格子
斜め格子にキルティングします。生地をしっかりとぬい合わせることができ、よく使われます。



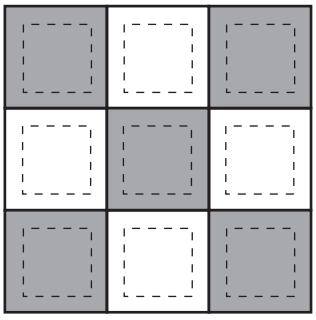
斜め
斜めの平行のラインでキルティングします。



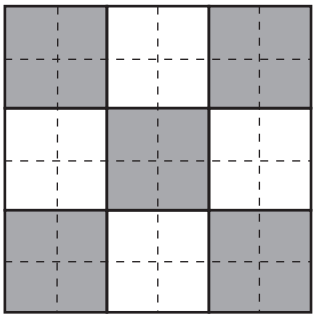
落とし
ぬいしろの倒れていない側のピースのきわにキルティングします。



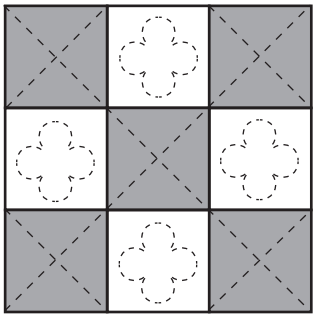
アウトライン
ピースに添って 3 ～ 4 mm 内側をキルティングします。



格子
ピースの中心に、縦、横のラインでキルティングします。



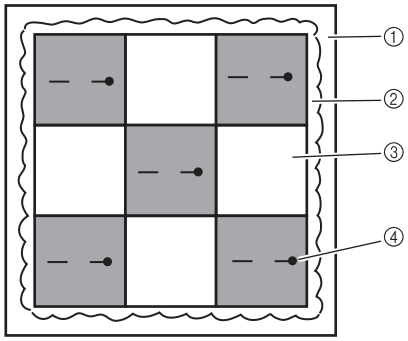
ブロック
模様をキルティングします。



6 しつけをする

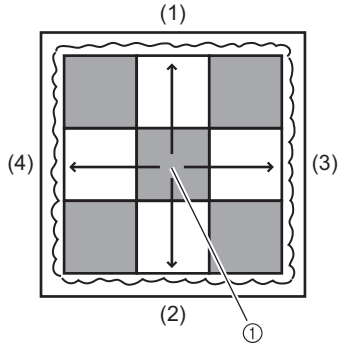
キルティングラインを描いたら、裏布、キルト綿、トップ（パッチワーク）の順に三層に重ね、しつけをします。

❶ トップより3〜4㎝大きい裏布とキルト綿を用意して、三枚を重ねてまち針でとめます。

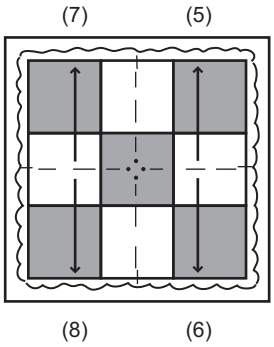


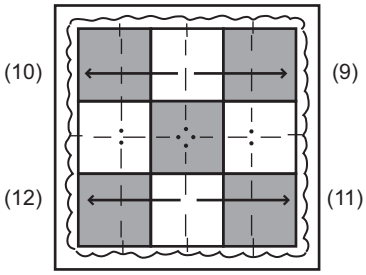
① 布の裏
② キルト綿
③ トップ
④ まち針

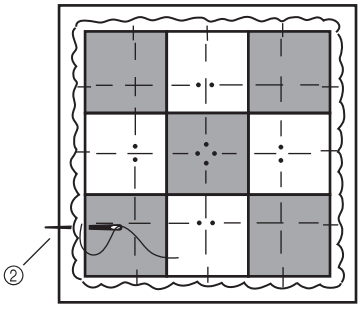
❷ 中心から外に向かって、図のような順番で格子状にしつけぬいをします。
ぬい始めは玉結び、ぬい終わりは返しぬいをしてしつけ糸を切ります。



① ぬい始め

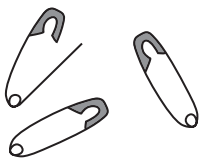






② 返しぬい

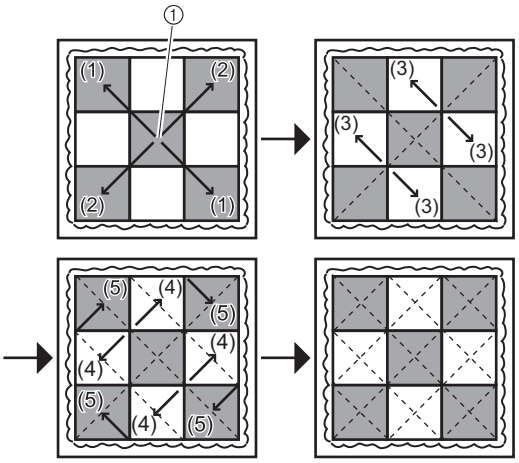
＊小物のキルティングの場合は、しつけ用の安全ピンを使用することもできます。



7 キルティングをする

キルティングの順番

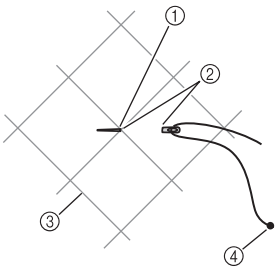
中心から外に向かって、図のような順番で対称にぬいます。



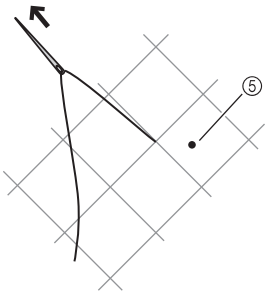
① ぬい始め

ぬい始め

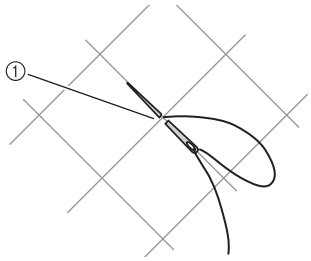
1 少し離れたところから針を入れ、糸を引っぱって玉結びをトップと裏布の間に入れ込んで隠します。



① キルティングを始める場所
② 2 ～ 3 ㎝
③ キルティングライン
④ 玉結び
⑤ 玉結びを中に入れ込む



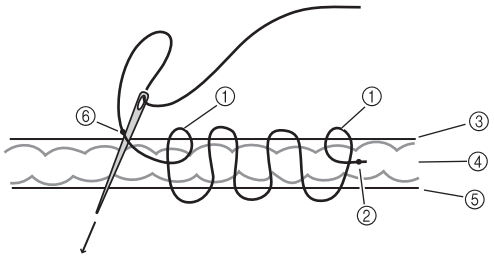
2 ぬい始めは、ひと針返しぬいをします。
トップ、キルト綿、裏布の三層に針をしっかり刺してキルティングします。



① 返しぬい

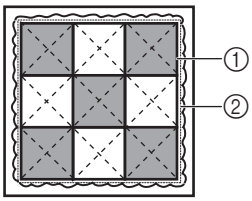
ぬい終わり

1 ひと針返しぬいをして玉結びを作り、再び同じ場所に針を刺して、玉結びをトップと裏布の間に入れ込んで隠します。



① 返しぬい
② 玉結び
③ トップ
④ キルト綿
⑤ 裏布
⑥ 玉どめ

2 キルティングが終わったらしつけ糸をほどき、裏布とキルト綿を、トップ（パッチワーク）の端からバイアステープのできあがり幅分（7㎜）を残して、カットします。



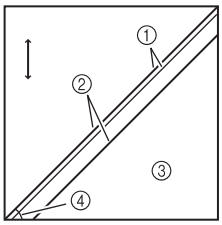
① トップ（パッチワーク）
② トップの端からバイアステープのできあがり幅分を残してカットする

8 バインディング（布端の始末）をする

キルティングをしたあと、端をバイアステープでくるんで始末します。

バイアステープの作り方

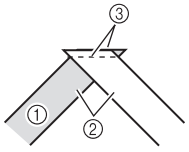
できあがり 7 mm 幅のバイアステープを作ります。
45˚ の角度で 35 mm 幅のラインを引き、カットします。
バイアステープの端から 7 mm の線を引いておきます。
キルトの四辺に 15 ～ 20 cm 足した長さになるようにぬい合わせます。



① 7 mm
② 35 mm
③ 布の裏
④ 45˚

テープのつなぎ方

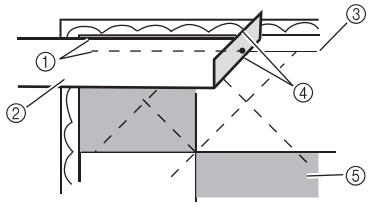
テープを中表に合わせ、7 mm のぬいしろでぬい合わせます。



① 布の表
② 中表
③ 7 mm

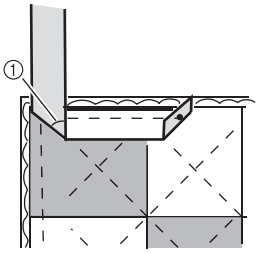
バインディング

1 キルトのできあがり線に 7 mm の線を合わせてぬいます。
バイアステープの端は 1 cm 折り返しておきます。



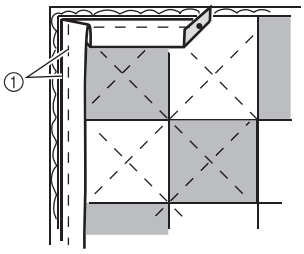
① 7 mm
② バイアステープの裏
③ できあがり線
④ 1 cm 折り返す
⑤ キルトの表

2 バイアステープを角で 45˚ 外側に折り返します。



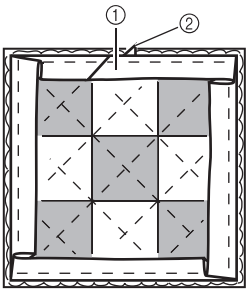
① 45˚

3 図のように更に 90˚ 折り返し、7 mm の線をぬいます。



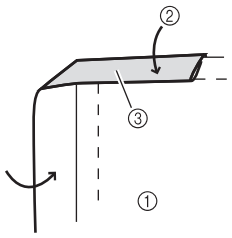
① 7 mm

4 同様にしてぐるりと周囲をぬい、バイアステープの折り返しの上までぬいます。
バイアステープの不要な部分をカットします。

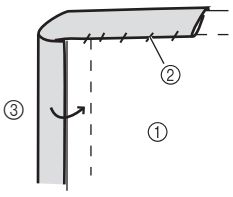


① 折り返しの上に重ねる。
② バイアステープの不要な部分

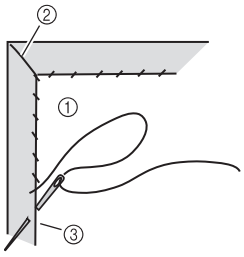
5 キルトを裏返し、ぬいしろをバイアステープでくるみ、まつりぬいをして仕上げます。
角は図のように額縁仕立てにします。



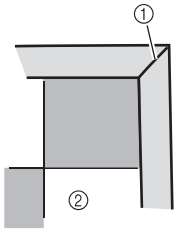
① 布の裏
② 三つ折り
③ バイアステープの表



① 布の裏
② まつりぬい
③ 三つ折り



① 布の裏
② 額縁仕立て
③ まつりぬい



① 額縁仕立て
② キルトの表

お知らせ

- ミシンでバインディングすると丈夫に仕上がります。
  手ぬいでバインディングをする場合は、半返しぬいでしっかりとぬってください。

891-Z01
Printed in China

XF7834-101①